

明日の授業参観の前、13:00 から統計グラフコンクール(夏の選択課題の一つ)の説明会があります。児童対象(希望者)の会ですが、保護者の方の参加も OK です。場所は第1理科室(南校舎1階東側)で行います。

家庭数配布



令和元年度 学校だより

学校ホームページ <http://minamisyo.nagaizumi.ed.jp/>

みなみっ子

長泉町立南小学校

No. 17

令和元年 6月 20日

学校教育目標 「夢のある子」～めあてをもってがんばる子～

自転車教室4年生。免許をもらって、これからが大切。



どの後ろ姿も真剣



コースをしっかりと走れるかな

4年生が自転車教室に臨みました。ここで免許をもらうと、3年生時と比べて**自転車での行動範囲**が広がります。免許ですから、指導員さんから教えていただいたことを確認する「学科」もあります。

実技教室では、普段、自転車に乗っている子もそうでない子も、自分のレベルに合わせて頑張っていました。苦手な子は、**補助員さんに支援してもらいながら**目を見開いて運転にチャレンジしていました。4年生社会科の「事故や事件からくらしを守る」について学習してきた子どもたちが、自転車に乗りながら、いつも以上に安全に気をつけて乗っているのが印象的でした。



免許をいただきました!

さて、「学科」です。交通ルールテストで何点取れるか、ドキドキしながら真剣に話を聞く4年生。**無事に免許が交付された瞬間の笑顔**

は何とも言えず晴れやかなものでした。自転車教室が終わった後、指導員さんに4年生の様子を聞くと、「まじめに取り組む姿がすばらしい子たちです。でも、安全は子どもたちにとって、これからずっと続く大切な課題です。その意味では、免許をもらったここからが本番ですね!」と話しておられました。4年生、お疲れさま!そして、ずっと交通安全で!

長泉町少年の主張大会。「夢を語り合おう」



聴衆を見つめながらの堂々スピーチ

16日(日)に、コミュニティながいずみで、長泉町少年の主張大会が開かれ、本校から6年4組の齋藤大輝さんが出場しました。演題は、「夢を語り合おう」です。この発表に先立ち、**全校集会でも南小児童全員の前でスピーチ**を披露しました。

大輝さんは、大好きな昆虫や魚、そしてその愛しい生物たちの様子や生きやすい環境・条件などを丁寧に話します。そして、自分の**大好きなこと**と友達や仲間の好きなことはそれぞれ違うけれど、その違いをわかり合う楽しさ、すばらしさを伝えました。全校集会では、**低学年が新たな知識について「えーっ」と驚いたり、高学年が互いの違いの尊重についての部分にしっかりと耳を傾けたりと、**

体育館がとても温かな空間になりました。大輝さんのスピーチも、南小児童の目と耳と心で聴く姿も一級品でした。

本番では、聴衆の方を笑みも感じられるような優しい表情で立派にスピーチをした大輝さん。南小代表として素晴らしい発表をありがとう! (裏面に、大輝さんのスピーチ全文を載せました。)

ペア読書。高学年も低学年もいっしょ顔で。

高学年と低学年のペア読書。第1回目が行われました。普段の授業時の音読よりも、**表情豊かに抑揚をつけて読み聞かせる南小高学年**。低学年もリラックスして本の絵とペアの声を楽しんでいるのがわかります。写真は3年生と5年生のペア。どのペアもいい雰囲気でした。



3年&5年のあったか空間

「夢を語り合おう」

静岡県長泉町立南小学校 六年
齋藤 大輝

みなさんはどんなことが好きですか。夢中になれるものがありますか。

ぼくは、生き物を飼って観察したり調べたりすることが大好きです。ぼくの家にはたくさん生き物がいます。

昆虫は、クワガタのオスやカブトムシの幼虫などを合わせると、全部で四十匹くらいいます。また、ネオンテトラやエンゼルフィッシュなどの熱帯魚や、出目金や琉金などの金魚、自分で採ったハゼの仲間やエビも飼っています。メダカは琥珀メダカやヒメダカなど、稚魚も合わせると全部で百匹くらいいます。

春は、メダカとエビとヨシノボリが卵を産む季節です。メダカは水温が二十度を超えると、水草に卵をたくさん産みつけます。卵を見つけたらすぐに他の容器に移します。手で移すのがいちばんやりやすいです。無精卵はやわらかくすぐにつぶれてしまいますが、受精卵は固いので、手で移してもつぶれません。卵は、メダカの種類別に分けていますが、不思議なことに同じ種類なのに、黒いものや白いものがあります。本で調べてみると、メンデルの法則というものがあり、二代前のメダカの色が遺伝していると分かりました。

卵がたくさん産まれるのは、オス二匹とメス六匹の組み合わせです。オスが多いと卵の数が少なくなります。水そうの中のメダカの数が多すぎると、メダカの成長が止まり卵を産まなくなってしまうということに気がしました。

夏は、クワガタを採りに行きます。冬を越すことができないミヤマクワガタやノコギリクワガタを採ります。メスは採りません。クワガタの繁殖はプロでも難しいので、自然界のクワガタの数を減らさないようするためです。

ミヤマクワガタの飼育では、夏は深く涼しい山を再現するために、虫かごと発泡スチロールの箱の中に保冷剤と一緒に入れて、一定の温度にします。逆に、冬は保冷剤を入れずにふたをしっかりと閉じて温度を保ちます。虫かごに入れて育てていたクワガタより長生きしていたことから、発泡スチロールに入れて一定の温度に保つことが長生きのひけつだと、最近分かりました。

生き物を飼育する上で大切なことは最後まで責任をもって飼うことです。外来種を自然界へ放してしまうと、生態系がくずれてしまいます。例えば、グッピーとメダカでは、成長の速度や生存率に倍以上の差があります。外来種のグッピーの方が強いので、在来種のメダカの数が減ってしまうのです。

このように、ぼくは今、生き物や自然環境の知識を深めていくことに夢中になっています。そんなぼくの話も、友達はとても楽しそうに聞いてくれます。生き物のことをよく知らなくても、関心をもって聞いてくれることがとてもうれしいです。ぼくもサッカーやゲームのことはあまり分からないけれど、友達が好きなことの話は聞くのは、とてもおもしろいです。

今、いじめについての悲しいニュースを耳にすることがあります。ちょっと考え方が違ったり、人とは別の行動をしたりすると、仲間外れにされたり、変わった人だと思われたりするからだと思います。何か夢中になれることがあるということは、とても素晴らしいことです。一人ひとりが違うというのは当たり前のことであり、とても楽しいことだとぼくは思います。

自分の好きなことを、胸を張って好きと言い、お互いの違いを認め合えてこそ、本当に平等な世の中になっていくと思います。

みなさんの夢は何ですか。ぼくの将来の夢は、深海魚の研究者になることです。